

平成 25 年度版

年度推移 決算報告書に見る 特定非営利活動の報告

平成21年度～平成24年度（4期分）

～ 「生活が芸術であり、芸術が生活となる社会づくり」 ～

- 1) 演劇の公演事業・人材育成事業・地域文化支援事業・国際文化交流事業の活動
- 2) 「認定 NPO 法人」取得の寄付募集活動に伴う経過報告
- 3) 年度推移 経常収支計算書・貸借対照表等



特定非営利活動法人

東京ノーヴィ・レパートリーシアター

東京都世田谷区北沢3-30-3 ハイツ三 301

Tel/Fax : 03-5453-4945

E-mail : info@tokyo-novyi.com

HP : <http://www.tokyo-novyi.com>

演劇芸術というのは、

人間にとって益にもなれば、害にもなります。

演劇は人の意識を治療することもできれば、人の意識に害を与えることもできる。このことはチェーホフも言っています。

「真実だけが人を治療でき、癒やすことが出来る。」

(レオニード・アニシモフ マガジンアルクのインタビューにて)

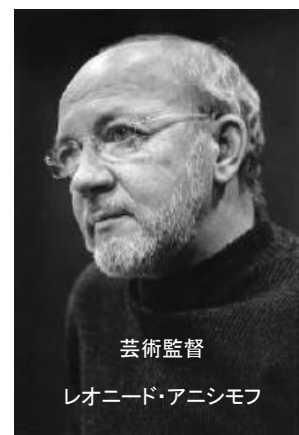
芸術監督紹介

レオニード・アニシモフ Leonid Anisimov

1993 年モスクワ芸術座の舞台上で上演した「どん底で」公演は大成功を収め、その演出に対し、ロシア功労芸術家の称号を与えられる。日本でも 1993 年「夢、クレムリンであなたと」(木山事務所)の演出で、文化庁芸術祭優秀賞受賞。2005 年 9 月より 1 年間ワシントン大学大学院の客演教授、その後ロシア・ウスリースク私立ドラマ劇場芸術監督を務めた。

スタニスラフスキー・システムの研究者、演出家として、ヨーロッパ諸国、アメリカなど活発な活動を続け、現在は、東京ノーヴィ・レパトリーシアター専属の芸術監督として指導・演出に当たっている。

セラフィーム・サロフスキーメダル 第二級(ロシア正教会の教主 アレクセイ 2 世の証書にて授与)



芸術監督

レオニード・アニシモフ

「演劇の公演事業」 活動

1. 活動の趣旨 ～ 繰り返し上演される「レパートリー作品」をもつということ ～

音楽の世界では、過去の優れた作曲家たちの創った作品が「レパートリー作品」として残り、今でも多くの人に愛され、親しまれています。美術や文学は作品が公表されたところで完結しますが、舞台芸術においては、何度も同じ作品が上演されることで多くの人に親しまれるとともに、実演家の芸術的成長にもない作品自体も豊かに成長していきます。これこそ舞台芸術の特徴です。

その意味で、豊かな舞台芸術とは「優れた実演家(演劇で言えば俳優)」に支えられていると言えますが、実演家(俳優)を育てる上でも、レパートリー公演は大きな役割を果たしています。

私たちは、優れた演劇文化こそが、社会に豊かな心をもたらすことを信じ、総勢で約 40 数名の俳優に支えられながら、2004 年から 10 年にわたって、このレパートリー公演を続けています。尚、全ての作品は、ロシア功労芸術家であり、ウラジオストック室内ドラマ劇場の芸術監督として活躍されていた、レオニード・アニシモフ氏を日本に招聘して、指導・演出いただいています。

＜東京ノーヴィ・レパートリーシアターで上演されている作家達＞



チェーホフ



ゴーリキー



ドストエフスキー



ブレヒト



宮沢 賢治



シェイクスピア

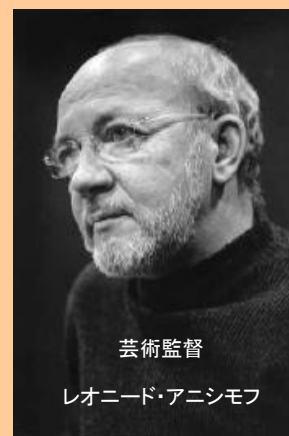


近松 門左衛門

芸術監督 レオニード・アニシモフ Leonid Anisimov

「日本で上演されている芝居のほとんどは、
上演期間が短く、回数も少ない。
作品として成長する時間がないのです。
繰り返し演じ、繰り返し見ることによって、
作品が深く理解され、
俳優と観客は、心で体験できるようになります。
演劇は、人の成長と一緒になんです。」

(マガジナルク 掲載インタビュー記事より)



芸術監督

レオニード・アニシモフ

2. 厳選されたレパートリー

優れた古典作品を、現代的な視点で捉えなおし上演しています。

レパートリーは、世界的に評価されている作家として、チャーホフ、ゴーリキー、シェイクスピアを取り上げ、また国内の作家でも、近松門左衛門、宮沢賢治などを取り上げています。特に近松門左衛門の作品『曾根崎心中』は、海外でも高く評価され、ロシア・ウスリースク古典戯曲国際演劇祭、およびウラジオストック ビエンナーレで上演されたほか、韓国仁川市ビタミンアート演劇祭でも正式招聘公演が行われています。



近松門左衛門作『曾根崎心中』 上演数…124公演

3. レパートリーシアターの推移

私たちのレパートリーシアターとしての劇場は、26 席しかない小さな空間としてスタートしました。その空間は、「まるでプライベートシアターのように」「贅沢な演劇空間だ」「俳優の息使いまで感じられる」と、多くの方に、その特性を楽しんでいただけてきました。

平成23年度『トップレベルの舞台芸術創造事業』助成対象活動として上演された、ドストエフスキー原作『Idiot ～ドストエフスキー白痴より～』公演と、平成24年に上演されたプレヒト作『コーカサスの白墨の輪』が、両国シアターX(カイ)劇場のプロデューサー兼芸術監督である上田美佐子氏に評価され、同年より共同企画として、毎月、同劇場にて上記の2作品がレパートリー公演として上演されています。



プレヒト作『コーカサスの白墨の輪』

4. 芸術文化振興基金 助成公演

芸術文化振興基金 助成対象活動として行なった公演事業は以下のものです。

平成19年度 芸術創造活動重点支援事業 助成対象活動

「生きていく知恵豊富！祭」（2007年 5月実施）

平成20年度 芸術文化振興基金 助成対象活動

「日本人のこころの晩御飯」（2009年 1月実施）

平成21年度 芸術創造活動特別推進事業 助成対象活動

「7作品連続公演“天才作家の贈り物”」（2009年 5月実施）

平成23年度 トップレベルの舞台芸術創造事業 助成対象活動

「ドストエフスキー生誕190年記念公演」（2011年11月実施）



平成23年度トップレベルの舞台芸術創造事業
ドストエフスキー原作『Idiot ～白痴より』公演

5. アンケートより

(アンケート内容と、舞台写真は必ずしも一致してはいません)



チェーホフ作『桜の園』 上演数…105公演

・細かな描写が丁寧に作られていたので、非常にわかりやすく、飽きやすくながちなチェーホフの作品なのに最後まで集中して見ることができました。他所で観劇して意味がわからなかった所が、こちらで拝見して「こういうことだったのか！」と得心するところ多々ありました。大変素敵な芝居で感謝しております。

(映像クリエイター/39 歳)



ゴーリキー作『どん底』 上演数…132公演

・エンターテインメントでない演劇を始めてみました。子供の頃から親にたくさんの作品を見につれていってもらっていましたが、こんな演劇は初めてで、本を一冊読んだような気持ちになりました。「楽しませてもらう事」からこのように「作品を味わう」方が好きになりました。人間は人間の中で生きてるんだと改めて気づいたり。それぞれの人間の中に自分の記憶や経験をリンクさせたり。ちょっと悩んだり、迷ってる大人たちに気づきを与えられる「ツール」でもあると思いました。本物の芸術ってなんの知識もない人をも感動させられるのだと思いました。今回の出会いに感謝します。

(銀行勤務/30 代)

・今まで観た中で最も贅沢な演劇。たった 26 人の客席の為にだなんて、何て贅沢なことでしょう！

今回の「ワーニヤ伯父さん」はとてもわかりやすかった！本に忠実！

実は、他で観たもので、何だかな？？と言う感があったところも、目からうろこが落ちるように！！ 小道具などもきちんとしていて、雰囲気がちやんと伝わり、後半は身を乗り出して見入っていた。3 時間を全く長く感じませんでした。

(主婦/50 代)



チェーホフ作『ワーニヤ伯父さん』 …109公演



シェイクスピア作『ハムレット』

上演数…33公演

・今まで抱いていたイメージをくつがえされる珍しい『ハムレット』。演目は古典、演出は斬新。大げさでない演技、いかにも「お芝居」っぽい仕草やしゃべり方をしないけれど、役の人物の気持ちはちゃんと伝わってきました。とてもリアルな感じ。良かった。

(書店アルバイト/30 代/女性)

・以前も何度か『かもめ』を拝見し、中身をよくわかっているつもりでした。でも、何だか今日、初めて中身を知った気がしました。上流階級のけだるさから始まり、どうなっていくかと思っている内に、一人一人の苦しみや悩みが、いつのまにか激しいほどに私を包んでいました。人間関係の危うさも。本当にすばらしかったです。(チェーホフ作「かもめ」)

チェーホフ作『かもめ』 上演数…107公演



・古典のものを高度な演出で行っている。演じる力が追いついていないと大失敗になってしまうと思うのだが、そうはならずにいるのは凄いと思う。チャーホフってもっと難しく考えていましたが非常に感情移入でき、つい泣いてしまいました。周りの観客の方々も何人か涙を流していました。素晴しかったです。（銀行秘書/30代/女性）



チャーホフ作『三人姉妹』 上演数…84公演

・久々に観に来ましたが、ここでしか観ることができない「アート」あらためて実感させていただきました。すばらしい！（「越後瞽女唄冬の旅」）

（30代/男性）

・そのリアリティーにおどろきました。すばしかったです。人生のすごさに、生きていることに、感謝。なつかしかったです。

（「越後瞽女唄冬の旅」観劇）

（60代/男性/グラフィックデザイナー）



村山富士子原作

「越後瞽女唄冬の旅」 上演数…19公演

・美しい。美しい映像作品を観ながら、生きたお芝居を堪能する、そんな感覚でした。不思議な世界と現実と、それを行き来し、涙が出ました。

ありがとうございます。（「銀河鉄道の夜」観劇）

（男性/40代/自営業）

宮沢賢治作『銀河鉄道の夜』

上演数…80公演



宮沢賢治作『鹿踊りのはじまり』 上演数…8公



・意外な演出にビックリしました。数年前のノーヴィさんとはずい分違い、むすんでひらいて？！（笑）主役の男の子、人形なのに表情豊かでした。やはり終わった後、心地よさが残ります。（「鹿踊りの始まり」）

（女性/40代/児童福祉職）



ドストエフスキー原作『白痴』 上演数…23公演

・役を生きる」ということ、舞台の上で生身の人間がいたと思います。ひ弱に見えるムイシュキンの言葉が暴力的な破壊力をもち、周囲を振り回していくさまは痛く、人間は「弱さ」を向けられるとさらに弱くなるのだと思わされました。（ドストエフスキー原作『白痴』）

（40代/男性/講師）

平成21年度～平成24年度(4期分) 活動実施内容

1. 公演事業のうち、「世田谷区で実施された“年間レパトリー公演”」活動

【事業年度】	平成 21 年度 (第 6 シーズン)	平成 22 年度 (第 7 シーズン)	平成 23 年度 (第 8 シーズン)	平成 24 年度 (第 9 シーズン)
【事業名】	「年間レパトリー」公演			
【事業内容】	古典作家の作品を、レパトリーシアターとして継続上演、その普及を図る			
【実施公演数】	77公演(7作品)	34公演(4作品)	38公演(5作品)	34公演(5作品)
【実施期間】	H21 年 11 月～ (7ヶ月間)	H22 年 2 月～ (4ヶ月間)	H21 年 2 月～ (4ヶ月間)	H24 年 2 月～ (4ヶ月間)
【実施場所】	東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (東京都世田谷区)			
【事業の従事者数】	45人	43人	40人	43名
【受益対象者の範囲及び人数】	一般市民 804人	一般市民 439人	一般市民 511人	一般市民 334名

【補注】平成 22 年度は、東日本大震災の影響により、約 1 ヶ月間、都合 6 公演の上演を中止・自粛とし、安全面を図り、休演期間中に劇場のメンテナンスと災害対策の見直しを行った。

2. 公演事業のうち、“年間レパトリー公演”以外で発表された「新作」公演

【事業年度】	平成 22 年度 (第 7 シーズン)	平成 23 年度 (第 8 シーズン)		平成 24 年度 (第 9 シーズン)
【事業内容】	この年度は、『Idiot ～ドストエフスキー 白 痴 より～』公演の準 備に充てた為、新作 発表はなし。	『Idiot ～ドストエフスキ ー 白痴 より～』公演	宮沢賢治作『鹿踊りの はじまり』公演	B・ブレヒト作『コーカサ スの白墨の輪』公演
【実施期間】		平成 23 年 11 月 11 日～13 日	平成 24 年 6 月 17 日	平成 24 年 12 月 11 日～16 日
【実施公演数】		5 公演	1 公演	9 公演
【実施場所】		シアターX劇場 (東京 墨田区)	シアターX劇場 (東京 墨田区)	シアターX劇場 (東京 墨田区)
【事業の従事者数】		40人	20名	43名
【受益対象者の範 囲及び人数】		一般市民 555名	一般市民 150名 (推定)	一般市民 932名

3. 公演事業のうち、シアターXとの共同企画「毎月レパートリー公演」活動

【事業年度】	平成 21 年度 (第 6 シーズン)	平成 22 年度 (第 7 シーズン)	平成 23 年度 (第 8 シーズン)	平成 24 年度 (第 9 シーズン)
【事業内容】				『コーカサスの…』公演 『白痴』公演 (2 作品の日替わり上演)
【実施期間】				平成 25 年 3 月 22 日～ 6 月 12 日
【実施公演数】				8 公演
【実施場所】				シアターX 劇場 (東京 墨田区)
【事業の従事者数】				43 名
【受益対象者の範囲及び人数】				一般市民 583 名

【補注】シアターX(カイ)劇場(東京都墨田区)が行っている「千円」公演の企画に賛同し、平成 25 年以降、共同企画として、毎月日替わりで『コーカサスの白墨の輪』『Idiot ～ドストエフスキ- 白痴より』の 2 作品を、継続して上演している。

「人材育成支援事業」 活動

1. 主な活動

舞台芸術は、実演家の能力にほぼ左右されてしまいます。それが楽曲であれ、文学作品であれ、一つの作品が魅力に満ちたものになるか、退屈なものになるかは、そのまま実演家の能力に掛かっています。けれども、人が「育つ」ということには実に時間がかかります。どの社会でも、人が一人前と認められるのに最低でも5～10年は掛かるというのは大げさな話ではありません。人材育成の一番の課題は、長期的、かつ体系的な育成の「場」を持てるかどうかにかかっています。

演劇芸術の世界で、「潜在意識」の領域を明確に理解して、個人の能力の開発の方法、芸術面での創造的な仕事の進め方について体系的なシステムを見つけたのは、約 100 年前のロシアの K・スタニスラフスキーでした。けれどもそれは過去のものではありません。ちょうど日本の世阿弥の能楽論と同じように、彼が示した体系、考え方は、今尚、世界中で評価され、演劇だけでなく、心理学、美学、その他各方面で研究が続けられています。

私たちは、この方面で最も卓越した理解と実践・研究を重ねてきた、ロシア功労芸術家レオニード・アニシモフ氏（元 ウラジオストック室内ドラマ劇場芸術監督）を芸術監督に迎え、毎年、日本に招聘し、広く一般の方々にも体験していただけるよう、実践的なマスタークラスという形で公開しています。これまでに専門の心理学者、音楽家、舞踊家など色々な方々が受講されています。

マスタークラス講義風景



2. レオニード・アニシモフ その他の活動

毎年、定期的に開かれるマスタークラス以外に、人材育成事業の一環として開催された主な企画として、公開講座『心の上手な使い方』があります。平成 22 年の 3.11 東日本大震災以後、社会に蔓延した不安感に対し、「自分の心をどう扱って生きていくか」をテーマに、1 回目を作家の田口ランディ氏、2 回目には脳機能科学者の苦米地英人博士にゲスト出演していただき、『心の上手な使い方』について話していただきました。

第 1 回 公開講座(作家の田口ランディ氏を迎える)



第 2 回 公開講座(脳機能科学者 苦米地博士を迎える)



3. 一般社会人対象 演劇クラス

心に響く演劇を学び、体験する事は、その人の人生に大きな変化をもたらします。私たちは、演劇を日々の生活の中に役立ててもらうために、特に40代、50代以降の一般社会人の方を中心とした演劇クラスを、毎年、継続して開催しています。



真船豊作「颯」公演

平成 21 年度～平成 24 年度(4 期分)

<人材育成支援事業のうち「L・アニシモフの演劇マスタークラス」>

【事業年度】	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
【事業内容】	レオニード・アニシモフの演劇マスタークラス			
【実施期間】	H21 年 10 月(15 回) H21 年 11 月(10 回) H22 年 4 月(14 回) 計 39 回	H22 年 10 月(10 回) H22 年 11 月(20 回) H23 年 4 月(15 回) H23 年 6 月(15 回) 計 60 回	H23 年 11 月(10 回) H23 年 12 月(5 回) H24 年 5 月(10 回) H24 年 6 月(8 回) 計 33 回	H24 年 9 月(10 回) H25 年 3 月(15 回) 計 25 回
【実施場所】	東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (東京都世田谷区)			
【事業の従事者数】	講師 1 名／通訳 1 名、他アシスタント含め、計 5～7 名			
【受益対象者の範囲及び人数】	一般市民113人	一般市民53 人 見学者(のべ)106 人	一般市民 37人 見学者(のべ)61 人	一般市民 38 名 見学者(のべ)26 名

【後援】世田谷区

<人材育成支援事業のうち「L・アニシモフの公開講座 “こころの上手な使い方”>

【事業年度】	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
【事業内容】			公開講座 『心の上手な使い方』	
【実施時期】			H23 年 12 月(1 回) H24 年 4 月(1 回)	
【実施場所】			北沢タウンホール (東京都世田谷区)	
【事業の従事者数】			10 名	
【受益対象者の範囲及び人数】			一般市民 309名	

【後援】世田谷区

<人材育成支援事業のうち「一般社会人対象演劇ワークショップ」>

【事業年度】	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
【事業名】	一般社会人対象 演劇クラス			
【事業内容】	大人が作るチェーホフ作品 1) 「ワーニャ伯父さん」 2) 「桜の園」	「ワーニャ伯父さん」 「桜の園」上演に向けて のマスタークラス	真船豊作「鮑」公演を通 じた演劇ワークショップ	真船豊作「鮑」公演を通 じた演劇ワークショップ
【実施期間】	H21 年 9 月～22 年 5 月 (34 回)	H22 年 10 月～12 月 (10 回)	通年 (50 回以上)	通年 (50 回以上)
【実施場所】	東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (東京都世田谷区)			
【事業の従事者の数】	講師 1 名／通訳 1 名 他、計 5 名	講師 1 名／通訳 1 名 他、計 6 名	講師 1 名 他、計 3 名	講師 1 名 他、計 3 名
【受益対象者の範囲及び人数】	一般市民 30 名	一般市民 19 名	一般市民 10 名	一般市民 10 名

【後援】世田谷区

【補注】 1) 平成 21 年度、22 年度の「一般社会人対象演劇マスタークラス」は、講師 L・アニシモフ。

平成 23 年度以降は、当団体の俳優 菅沢晃が、1 年間のクラスとして指導・演出。

<人材育成支援事業のうち「専門家育成 演劇クラス」>

【事業年度】	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
【事業名】	専門家育成 演劇クラス			
【事業内容】	次代の芸術家を育てるための、レパトリー公演を通じた実地研修			
【実施期間】	H21 年 9 月～22 年 5 月 (講座 35 回) (実習公演 12 回)	通年 (実習公演 8 回)	通年 (実習公演 8 回) (他レパ作品に出演)	通年 (他レパ作品に出演) 実習公演はなし。
【実施場所】	東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場 (東京都世田谷区)			
【事業の従事者の数】	講師 1 名／通訳 1 名 他、計 5 名	スタッフ 3 名		
【受益対象者の範囲及び人数】	一般市民 23 人	一般市民 11 人	一般市民 8 人	一般市民 名

【後援】世田谷区

【補注】 1) 平成 21 年度 専門家育成 演劇クラスの指導は、L・アニシモフ。 クラスと平行し、同年 11 月から翌年 5 月にかけて、アニシモフの演出による 12 回の実習公演を行った。(チェーホフ作『イワーノフ』)

2) 平成22年度以降は、アニシモフ監修、劇団員指導による、公演に参加しながらの研修。また、平成23年度以降、劇団の本公演に直接参加した。

「地域文化支援 事業」 活動

1)公演活動

地域文化との連携性が高い活動については、公演活動も当該事業としています（ただし単なる地方公演、巡業公演は含めていません）。

平成 21 年に、地元の NPO 法人「ライフデザイン」との協力で実現した、豊島区にある真言宗豊山派金剛院本堂で行われた近松門左衛門『曾根崎心中』は高い評価を受けました。古い昔より、人が集る「交流」の場であり、「祈り」の場として使われてきた本堂での公演は、近松作品のテーマと響き合い、多くの人から「新しい、今までにない体験だった」「劇場では体験できない感動を受けた」と評価されました。

また同じ年に、鎌倉の古い洋館である、西御門サローネ(旧 里見惇邸宅)では、邸内の部屋をそのまま使って、チェーホフの『ワーニャ伯父さん』が上演されました。

いずれも、「地域の特色を生かした、新しい文化発信への取り組み」として、地元の方々の協力を得ながら行われています。地元の方々の協力を受け、さらに翌年、平成 22 年に、鎌倉市の日蓮宗本山 妙本寺本堂での『曾根崎心中』公演が実現、続けて板橋区の真言宗豊山派 安養院本堂での『曾根崎心中』上演へと繋がりました。

安養院 本堂にて上演された、『曾根崎



2) 学校支援活動

平成 22 年から、地元の教育ボランティアコーディネーターの協力を得て、町田市大戸小学校、武蔵丘中学校（現在は統合され「町田市立 小中一貫校ゆくのき学園」）において、継続した演劇ワークショップを行っています。最初に指導した、当時小学校 6 年の子供達は、今年、元気に中学校を卒業していきました。



3) 地元での クリスマス・チャリティ公演

地元の子供達を招いて行うクリスマス公演を、毎年、楽しみにしている家庭が多いようです。芸術監督レオニード・アニシモフが、自らサンタクロースに扮して配るプレゼントに、子どもたちは大喜びです。



4) 地元で行われる 祭礼その他のお手伝い



下北沢 八万宮例大祭のお手伝い

東日本大震災復興募金のお手伝い

平成21年度～平成24年度(4期分) 活動実施内容

1. 地域文化支援事業のうち、「公演」活動

【事業年度】	平成 21 年度		平成 22 年度	
【事業名】	金剛院 『曾根崎心中』公演	西御門サローネ 『ワーニャ』公演	妙本寺 『曾根崎心中』公演	安養院 『曾根崎心中』公演
【実施公演数】	2 回	1 回	1 回	2 回
【実施期間】	平成 21 年 10 月 18 日	平成 21 年 10 月 23 日	平成 22 年 10 月 22 日	平成 23 年 7 月 2 日
【実施場所】	真言宗豊山派 金剛院 (東京都板橋区)	西御門サローネ (鎌倉市 旧里見惇邸)	日蓮宗本山 妙本寺 (鎌倉市)	真言宗豊山派 安養院 (東京都板橋区)
【事業従事者数】	25 名	35 名	15 名	15 名
【受益対象者】	一般市民 119 名	一般市民 39 名	一般市民 100 名	一般市民 200 名

2. 地域文化支援事業のうち、「学校支援」活動

【事業年度】	平成 22 年度	平成 23 年度		平成 24 年度
【事業内容】	卒業式行事での 「声かけ」指導	中学校 1・2 年生の 学習発表会の指導	中学校 3 年生の 演劇ワークショップ	中学校 3 年生の 学習発表会の指導
【実施期間】	平成 23 年 3 月(5 回)	平成 23 年 9 月(2 回)	平成 24 年 3 月(2 回)	平成 24 年 10 月(2 回)
【実施場所】	大戸小学校 (町田市)	武蔵丘中学(町田市)		ゆくのき学園(町田市)
【事業従事者数】	3 名	3 名	4 名	4 名
【受益対象者】	小学校 6 年生 (18 名)	中学校 1・2 年生	中学校 3 年生(22 名)	中学校 3 年生(35 名)

3. 地域文化支援事業のうち、「地元の子供のための Xmas 公演」活動

【事業年度】	平成 22 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
【事業名】			地元の子供達を招待しての Xmas 公演	
【事業内容】			影絵『小さなお城』	『鹿踊りのはじまり』
【実施期間】			平成 23 年 12 月(2 回)	平成 24 年 12 月(2 回)
【実施場所】			東京ノーヴィ・レパトリーシアター(東京都世田谷区)	
【事業従事者数】			14 名 (内サポーター会員 3 名)	20 名
【受益対象者】			30 名	30 名

「国際文化交流 事業」 活動

1) 国際交流討論会 《奇人変人倶楽部》

私たちは、演劇の公演活動以外に、毎年、国内外の文化・芸術に関わる方をお招きして、色々なテーマで話し合う場を設けています。

会の名前は「奇人変人倶楽部」といい、このユニークな名前は最初の会合で「こんな、お金にもならないことに集まるのは、奇人変人の類いだね」とでたコメントを、以後、そのまま会の名称とさせていただきました。



国際交流討論会《奇人変人倶楽部》

2) 国際シンポジウム

私たちは、公演活動のテーマに合わせて、定期的に様々な国際シンポジウムを開催しております。



《ドストエフスキー『白痴』に学ぶ》（在日ロシア連歩大使館にて）



《～この現代を、勇敢に大胆に生き抜くには…～》（シアターX劇場にて）

3) 海外公演

「海外公演」 『越後瞽女唄冬の旅』 韓国公演

韓国ビタミン演劇祭から今年も正式招聘を受けて、今回は日本の越後瞽女を描いた村山富士子原作『越後瞽女唄冬の旅』公演を行いました。

今回の韓国公演でも、多くの現地の方にご協力をいただきました。韓国を訪れる度に、「礼」の国だと実感させられますが、この文化の素晴らしさを改めて日本に伝えたいと思います。尚、平成25年度には東京ノーヴィ・レパトリーシアター主催で韓国の方をお招きし、国際演劇マスタークラスを実施する予定です。



平成21年度～平成24年度(4期分) 活動実施内容

1. 国際文化交流事業のうち、「奇人変人倶楽部（国際交流討論会）」活動

【事業年度】	平成 21 年度	平成 22 年度		平成 23 年度
【事業名】	文化・芸術についての国際交流討論会 『奇人変人倶楽部』			
【事業内容】	「国を越えてつながり新たな文化を生む“メタカルチャー”」	テーマ「人間の心を支配する、善と悪の葛藤」	テーマ「個人と、超個人との闘い」	テーマ「この現代を、勇敢に大胆に生き抜くには…」
【実施期間】	平成 21 年 9 月 20 日	平成 23 年 1 月 7 日	平成 23 年 6 月 26 日	平成 24 年 7 月 1 日
【実施場所】	東京ノーヴィ・レパートリーシアター劇場（東京都世田谷区）			
【事業従事者数】	10 人	6 名	6 名	10 名
【参加者】	国内外の文化人等 計 16 名	国内外の文化人等 計 23 名	国内外の文化人等 計 20 名	国内外の文化人等 計 16 名

【事業年度】	平成 24 年度
【事業名】	国際交流討論会 『奇人変人倶楽部』
【事業内容】	『古事記の感情を読み解く！』 ～神々の物語は、今を生きる私たちに何を語るのか？～
【実施期間】	平成 24 年 12 月 13 日
【実施場所】	東京ノーヴィ・レパトリーシアター劇場
【事業従事者数】	20 名
【参加者】	パネリスト他計 16 名（通訳2名）

2. 国際文化交流事業のうち、「国際シンポジウム」活動

【事業年度】	平成 23 年度		平成 24 年度
【事業名】	国際シンポジウム		
【事業内容】	テーマ ～ドストエフスキー 「白痴」に学ぶ ～	～ 続・ドストエフスキー「白 痴」に学ぶ～	～この現代を、勇敢に大胆に生き抜くには！ ～
【実施期間】	平成 23 年 10 月 19 日	平成 23 年 12 月 18 日	平成 24 年 12 月 13 日
【実施場所】	在日ロシア連邦大使館	東京ノーヴィ・レパートリー シアター劇場	シアター X 劇場 (東京都墨田区)
【出席者】	井出勉(日本ペンクラブ事 務局長代理)／加賀乙彦 (作家)／亀山郁夫(東京 外国語大学長)／辻喬(作 家)／L・アニシモフ(演出家)	加賀乙彦(作家) 亀山郁夫(東京外国語大学 長) L・アニシモフ(演出家)	田口ランディ(作家)、井出勉(作家/日本ペン クラブ)、鎌田東二(京都大学こころの未来研究 所教授)、釈一裕氏(日蓮宗僧侶)、李尚哉 (韓国 MIR 代表)上田美佐子氏(シアター X プロデ ューサー兼芸術監督)セルゲイ・ヤーチン(極東 連邦大学哲学科主任教授)レオニード・アニ シモフ(芸術監督) … 計 8 名

3. 国際文化交流事業のうち、「海外公演」活動

【事業年度】	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
【事業名】				『越後警女唄冬の旅』 韓国公演
【実施期間】				平成 24 年 8 月 25 日～26 日
【実施公演数】				2 公演
【実施場所】				スポン公演文化会館(韓国仁川市)
【事業従事者数】				15 名

「認定 NPO 法人」取得の為の活動

＜寄付活動の経過報告（平成 26 年 4 月現在）＞

平成 24 年 8 月から開始した、寄付金募集活動は、平成 26 年 4 月現在、以下の数字となりました。

寄付件数の合計	149 件
寄付金の合計額	715,000 円

＜ご報告＞

お陰様で、昨年度から開始した寄付金募集では、現在までに、約 150 件の寄付を戴くことが出来ました(平成 26 年 4 月現在)。ご協力いただきました皆様には、心から御礼申し上げます。

「認定 NPO 法人」資格申請の最低条件は、2 年間で 200 件以上の寄付を集めていることです。私たちは、今年の 7 月 31 日までに、後、約 50 件の寄付を達成できれば「認定 NPO 法人」の取得申請の資格が出来るところまで漕ぎつけました。

日本で芸術団体が、本当に市民権を得て、社会の中で評価されるには、まだまだ時間がかかります。小さなステップかもしれませんが、私たち NPO 団体にとっては、「認定 NPO 法人」の資格を取ることは、社会的に“大きな一歩”になります。

是非、皆様の暖かいご協力をお願い致します。

理事長 岡崎弘司

寄付を戴いた方から、以下の応援メッセージを戴いています（掲載許可のあったもののみ掲載）。

現在の「改正認定 NPO 法制度」の設立に尽力されました鳩山由紀夫元首相から、以下の応援メッセージと寄付を戴きましたので、ご紹介させていただきます。

鳩山由紀夫（元首相）	『白痴』は皆さん、なかなか自然に頑張っておられて楽しませて戴きました。私が創設しました認定 NPO への早道、是非利用して取得されますよう祈念します。
------------	---

その他、これまでに多くの方が寄付金とともに、暖かい応援メッセージを送って頂いています。

女性	(未記入)	(未記入)	全身全霊で演じるということの素晴らしさ。役者さんたち一人一人からほとばしる情熱、創造のパワーに魂が震えました。演じるってすごいな！生きるって素晴らしいな！舞台の上で光り輝くみなさんの姿に、わたしの中で鳴り響く人間賛歌。たくさんの愛をありがとう！これからもみなさまの創造を楽しみにしています！！
女性	50 代	事務	演劇をたくさんの方々に観て頂き、心豊かな人たちが増えて欲しいです。是非頑張ってください。
女性	20 代	女優	10/7 舞台「白痴」を観劇させていただきました。ムイシュキン公爵の言葉に、はっとさせられました。とても面白かったです。
女性	30 代	団体職員	これからも東京ノーヴィ・レパトリーシアターのお芝居を出来る限り支援したいと思います。素晴らしい作品を演じつづけて下さい。
男性	60 代	無職	”本当に生きるって、どういうことですか？” ”本当に人を愛するってどういうことですか？” すべての人々が、この答えを探さなければならなかったこの時代に、その答えをこの劇団はそっと教えてくれるでしょう。
男性	30 代	会社員	東京ノーヴィとの出会いは私にとって幸運そのものです。今後の東京ノーヴィの社会的貢献に少しでも力になればと思い、ここにわずかではありますが寄付をさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。
男性	30 代	会社員	シアター X ではなかなか『白痴』を観る機会がございませんが、次回(来年)こそは！皆様の今後のご活躍を楽しみにしております。
男性	70 代	(未記入)	11 月公演を拝見しました。40～50 人の方々が各々仕事も生活もあるだろうのに、今時安い料金でロシア古典文学の表現に真剣に取り組んでいる姿に感心しました。こんな真面目な人達がいるのだと云う事に驚きました。公演も迫力があって感動しました。私は年金生活でゆとりもありませんが、ほんの応援の気持ちで寄付させていただきます。過去に色々少額の寄付をして来ましたが、そのあとが面倒なので「匿名」とさせていただきます。頑張ってください。
女性	(未記入)	(未記入)	皆さんの創造活動は、私にとって「生き直し」の支えです。大変なこともあるでしょうが、とにかく活動を続けてほしいと切に願っております。

女性	50 代	ピアノ教師	良い作品を、質の高い演出で、身近に観ることができる。「東京ノーヴィ・レパートリーシアター」の存在を、できるだけ多くの人達に知ってほしいと強く思います。これからも期待します。
男性	30 代	会社員	演劇という芸術活動が、個々の精神を豊かにしています。よりよい社会作りへの貢献活動に微力ではありますが、力を注がせて頂きます。
(未記入)	(未記入)	(未記入)	今、日本人に必要なのは、物の復興支援よりも、心の復興支援です。観劇やワークショップを通して、創造活動のタネが、多くの人たちの心に植え付けられるといいと思います。
女性	30 代	Jazz 歌手	言葉にならない感情が、心を打ちました。これからも、心の生活をえがいて下さい。応援してます。
(未記入)	(未記入)	(未記入)	お芝居を見ていて、子供の頃のことや、お母さんのこと…いろいろなことを思い出し、小さい頃の自分の心がよみがえったようでした。また、あの頃の純粋な心に少し戻れたような気がします。忘れてしまったら、また見に行って、よみがえりたいと思います!! ありがとうございます。
女性	60 代	主婦	『コーカサスの白墨の輪』を大変安い料金で見せて頂きました。楽しませようという演出と熱演で長時間の演目でしたが、引き込まれてアッと云う間に過ぎてしまいました。このような良質な舞台を見せて下さる東京ノーヴィ・レパートリーシアターを応援したいと思います。
女性	60 代	デザイナー	今までに色々な演劇を観てきましたが、これほどまでに自然体で、色とりどりの舞台を観たのは初めてでした。とても新鮮で、観た後にすがすがしさがあります。これからも頑張ってください。
女性	50 代	自営業	後日、友人が感想を述べてくれたのが、「深かったー」の一言でした。帰ってからしみじみ考えさせられました。ありがとう。
(未記入)	(未記入)	(未記入)	良質の演出を 1000 円で見せるという心意気に賛同いたします。日本の演劇文化がもっと豊かなものになりますように。
男性	30 代	(未記入)	質の高い舞台を、いつも上演してください。ありがとうございます。いつも応援してます。
男性	60 代	公務員	活動の持続と展がりをお願いします。
女性	40 代	会社員	4/11 のシアター X で『白痴』を初めて見ました。チケット代 1,000 円では申し訳ないくらい素晴らしい内容だったので、ささやかながら応援させて頂ければ幸いです。また見に行きます。
女性	60 代	日本語教師	『白痴』をみせていただきました。ロシアで観た素晴らしい演劇の数々がよみがえり、大変なつかしく、感動をおぼえました。ほかのロシアの作品も上演していただけると嬉しいです。心から応援申し上げます。

女性	(未記入)	(未記入)	活動の趣旨に賛同しています。
男性	30 代	会社員	東京ノーヴィの作品は、観る者の思考を高め深めるだけでなく、現代社会を力強く生きることと、社会の一員として広く貢献するためのヒントが込められています。単なる興味本位で観るには重い内容かもしれない。ただ、観る事が興味から趣味、趣味から生き方変わったとき、きっとまた新たな自分と出会える。東京ノーヴィの作品は、人生を左右させます。そんな東京ノーヴィに私は力を注ぎたい。
女性	59 歳	会社役員	小さな応援ですが、これからも応援します。がんばってください。
男性	70 代	自営業	頑張ってください。
男性	50 代	日本語教師	ロシア・ウラジオストックに在住していた時、アニシモフさんの芝居に出会いました。その時、芝居は理屈じゃない。心の底から楽しむものであることに気付かされました。今、その楽しみを日本で味わえることに感謝しています。東京ノーヴィ・レパトリーシアターの皆様、これからもどんどん楽しませてください。応援しています。
女性	50 代	なし	ただ生きるためだけなら必要ないかもしれないけれども、生きることに豊かな感性を与えるものは大切だと思います。
男性	(未記入)	(未記入)	日本におけるスタニスラフスキーの継承劇場。モスクワ芸術座を目指し、皆さんのますますの御精進を期待致します。
男性	50 代	文筆業	チェーホフをこよなく愛するわたしは、レパトリーシアターのベースにはまだ行ったことがありません。それでも毎月2度ずつ両国で行われる、Xシアターの公演を何より楽しみにしています。これからの成長をどきどきしながら追っかけたいと思います。
男性	30 代	医師	“文化”や“芸術”を守り続けること。言うことは簡単ですが、実践で続けていくことは非常に困難です。東京ノーヴィ・レパトリーシアターの方々を初めとして、表に裏に、数多くの方々が、人類の“文化”や“芸術”を支えてくれている縁の下での力持ちだと思い、その地道で静かな活動に深い敬意を覚えます。 人間の魂の世界を表現しながら、ユーモアを忘れず、楽しい芝居に感銘を受けました。これからも、太陽が大地を照らすような活動を応援しています。
女性	(未記入)	(未記入)	少しでも、皆さんの助けになるなら、応援しております！！
男性	60 代	洋服仕立業	演劇がもっと身近な社会になりますように。
女性	70代	主婦	こんなシステムの素敵な劇団があるのをはじめて知りました。6月にシアターXで『白痴』と『コーカサスの白墨の輪』をみました。出演者、舞台、照明、衣装、すべて完璧きというのは、こういうことでしょうか。拍手ずっとずっと続けてゆきます。
女性	(未記入)	(未記入)	人々の心に深く浸透してください。いつも心が毒された時、ノーヴィの演劇を見て浄化してます。

年度推移 決算報告書

(平成 21 年度～平成 24 年度／4 期分)

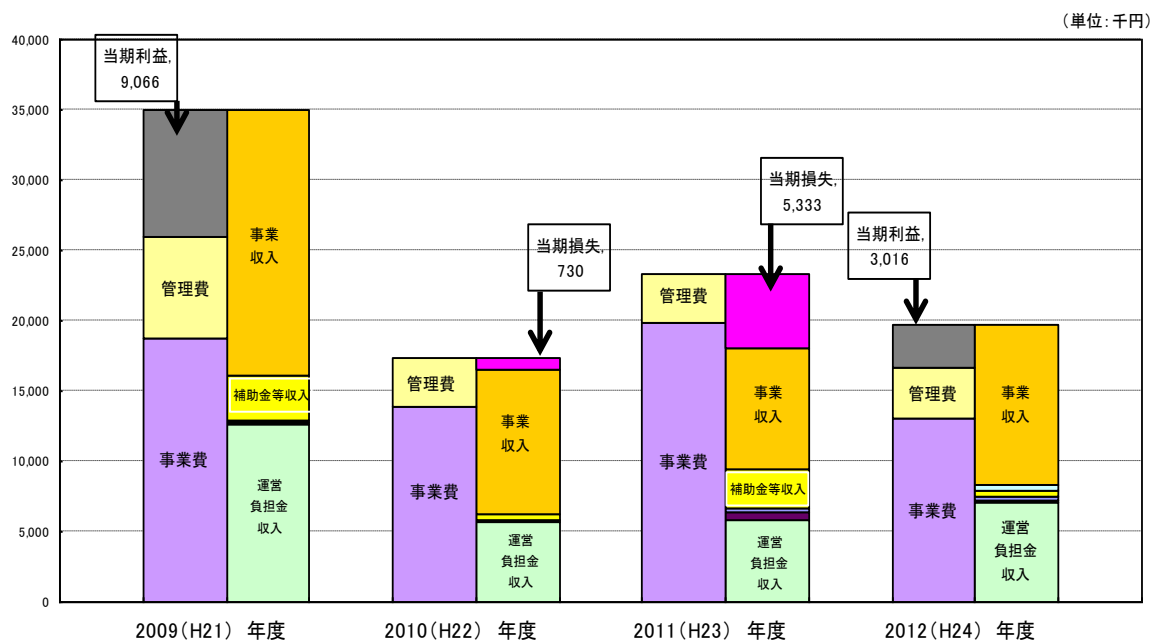
【補注】 年度推移の中で決算が比較できるよう、決算科目は直近の年度の分類に合わせて修正・統一しています。

1. 経常収支の年度推移

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
収 入	会費等収入	204,000	135,000	244,000	213,000
	自主事業収入	18,935,271	10,359,200	8,625,900	11,368,693
	補助金等収入	3,096,435	342,405	2,796,960	346,625
	寄付金収入	0	10,000	0	446,000
	その他収入	150,492	63,827	601,031	244,018
	運営負担金収入	12,625,000	5,662,000	5,780,000	7,046,000
	<経常収入(計)>	35,011,198	16,572,432	18,047,891	19,664,336
支 出	事業費	18,692,495	13,896,639	19,884,525	13,112,250
	管理費	7,252,408	3,405,474	3,496,757	3,536,397
	<経常支出(計)>	25,944,903	17,302,113	23,381,282	16,648,647
当期収支差額		9,066,295	▲729,681	▲5,333,391	3,015,689

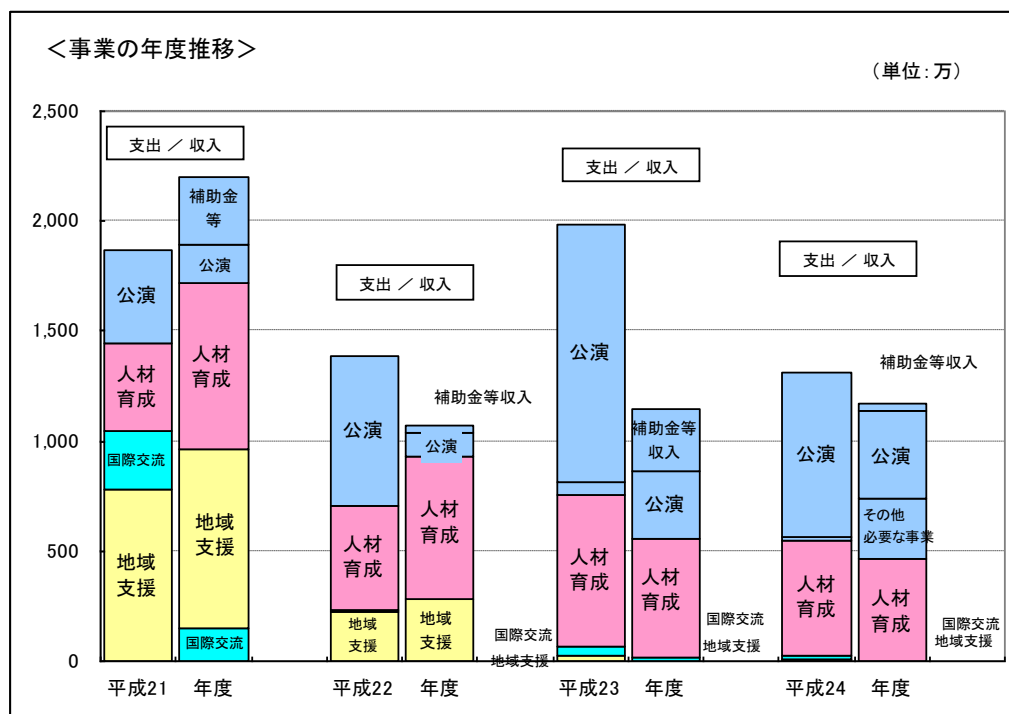
【補注】「運営負担金収入」とは、事業収入その他でまかなえない部分を、当団体の俳優が補填して運営費に充てている収入。

<経常収支の年度推移>



2. 経常収支計算書にみる各事業の年度推移

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業収入	演劇の公演事業	1,706,000	1,026,200	3,083,400	3,968,682
	人材育成支援事業	7,561,001	6,528,000	5,357,500	4,633,000
	情報発信事業	0	0	0	0
	国際文化交流事業	1,511,150	0	159,000	0
	地域文化支援事業	8,157,120	2,805,000	26,000	13,500
	その他、必要な事業	0	0	0	2,753,511
	(補助金等収入)	3,096,453	3,42,405	2,796,960	346,625
	<事業収入(計)>	22,031,706	10,701,605	11,422,860	11,715,318
事業費	演劇の公演事業	4,245,102	6,838,887	11,753,356	7,461,315
	人材育成支援事業	4,009,083	4,753,688	6,889,357	5,231,024
	情報発信事業	0	6,430	0	0
	国際文化交流事業	2,637,137	63,845	414,855	182,620
	地域文化支援事業	7,801,173	2,233,789	256,383	65,741
	その他、必要な事業	0	0	570,574	171,550
	<事業費(計)>	18,692,495	13,896,639	19,884,525	13,112,250
事業損益		3,339,211	△3,195,034	△8,461,665	△1,396,932



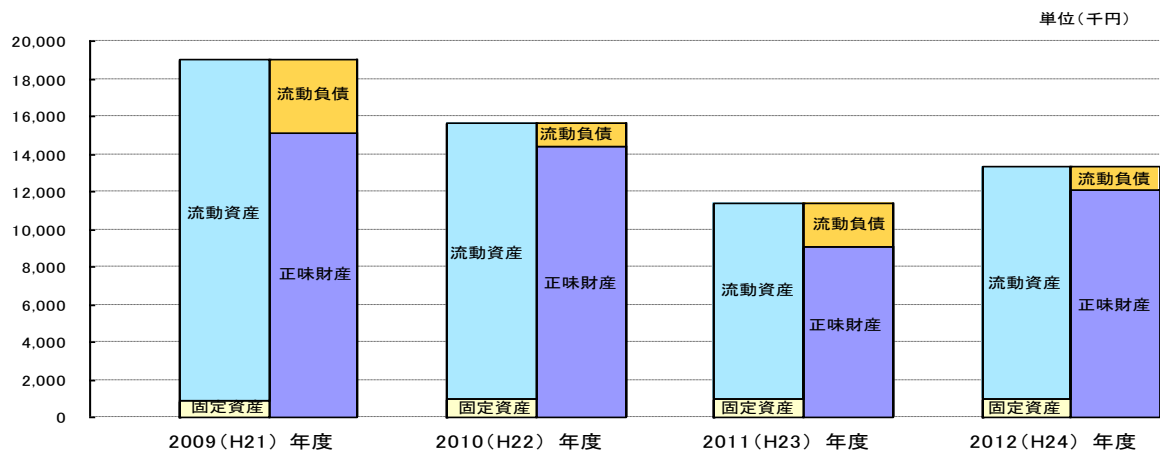
【補注】グラフ上で、「補助金等収入」は基本的に公演事業への助成なので、公演事業のマスと同系色に配色しました。

同じ理由で、平成 24 年度の「その他必要な事業」は、内容的には「人材育成事業」に分類されるものですが、公演事業の補填のために特別に組んだものなので、同系色にまとめました。

3. 貸借対照表にみる 資産の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
流動資産	18,166,880	14,734,557	10,436,015	12,403,567
固定資産	864,622	937,032	957,532	957,532
流動負債	3,925,576	1,295,344	2,350,693	1,302,556
固定負債	0	0	0	0
正味財産	15,105,926	14,376,245	9,042,854	12,058,543
資産合計	19,031,502	15,671,589	11,393,547	13,361,099
流動比率	463%	1138%	444%	952%

<資産の推移>



私たちは「認定NPO法人」を目指しています。

**私たちの活動にご賛同頂けましたら、
ご寄付のご協力をお願い致します。**

平成23年のNPO法の大幅な改正と税制改革に伴い、
私たちも「認定NPO法人」取得の為に準備を進めています。
是非、ご理解の上、ご協力をお願い致します。

= ご寄付の際は、以下のことにご留意ください =

1. ご寄付の際は、必ず、お名前とご住所をお願いします。
名前と住所の分からない方からの寄付は、「認定」審査の際に寄付としてカウントされません。
2. ご夫婦、親子など、住所が同じ方からの寄付は、「認定」審査の際は、合わせて1人分としての
カウントになってしまいますので、ご寄付の際は、ご了承の上でお願い致します。
3. 私どもの団体は、まだ「認定」を受けておりません。従って、寄付をされる方は「寄付に伴う還
付」等の税制優遇の対象にはなりませんので、ご注意ください。